

2022 年 3 月 18 日

各 位

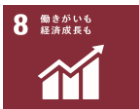
「SDGs 応援リース」の契約及び寄付について

株式会社山形銀行（頭取 長谷川 吉茂）の 100%子会社山銀リース株式会社（社長 柿崎 正樹）は、株式会社ムラヤマ（社長 村山 功）の SDGs の促進に資する設備導入において、「SDGs 応援リース」を下記のとおり契約いたしました。また、2022 年 3 月 24 日、当社が拠出するリース料の一部と株式会社ムラヤマが拠出する資金を合わせ、山形県立山形工業高等学校に寄付することとなりましたのでお知らせします。

「SDGs 応援リース」はお客さま及び地域の SDGs を促進することを目的とする製品です。製品の特徴として、お客さま及び当社で選定した SDGs の促進に向けた取組みを行っている団体へリース契約額の 0.2%相当額を寄付いたします。

当社はこうした取組みを通じて、お客さま及び地域社会の SDGs への取組みを全力で支援してまいります。

記

契約企業名	株式会社ムラヤマ
代表者	村山 功
所在地	山形県山形市鑄物町 40 番地
事業内容	建設用鉄骨加工組立
SDGs 促進に資する設備 (総称)	全自動穴明切断システム WS1300 1 式
契約概要	契約日 2022 年 2 月 1 日 物件価額 100 百万円 リース期間 7 年
企業の特徴・SDGs 促進に 向けた取組み等	詳細は別紙 1 参照
寄付	寄付先 山形県立山形工業高等学校 寄付金 金 200 千円 詳細は別紙 2 参照
対応する SDGs	<物件による SDGs 促進>    

	<寄付による SDGs 促進> 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに  9 産業と技術革新の 基盤をつくろう  11 住み続けられる まちづくりを  12 つくる責任 つかう責任  13 気候変動に 具体的な対策を  16 平和と公正を すべての人に  17 パートナリーシップで 目標を達成しよう 
--	---

以 上

本件に関するお問い合わせ先
 山銀リース株式会社 本社営業部
 山川（政）・高橋（雅）
 TEL 023-632-4983

1. 企業概要

- (1) 企業名：株式会社ムラヤマ
- (2) 代表者：村山 功
- (3) 所在地
 - ① 本社・山形工場 〒990-2351 山形県山形市鑄物町 40 番地
 - ② 仙台営業所 〒980-0041 宮城県仙台市青葉区本町 2-2-3 広業ビル 2F
 - ③ 酒田工場 〒998-0005 山形県酒田市大字宮海字新林 662-16
- (4) 資本金：65 百万円 (5) 設立：1961 年（創業 1926 年）
- (6) 従業員：168 名（2021 年 9 月現在） (7) 主要品目：建築鉄骨・橋梁・鋼構造物

2. 「SDGs 応援リース」契約内容

- (1) SDGs 促進に資する設備：アマダ製全自動穴明切断システム WS1300 1 式
 - ① 2020 年、H 型鋼高速穴明加工機 6BH1300III を導入、自動化による加工時間短縮、生産性向上を図った。【時短】【生産性向上】
 - ② 今般、上記 6BH1300III に新設型鋼バンドソー及び端材残材自動搬出装置を追加。これまで独立していた各工程を CAD データ及び工場内 PC を介し 1 素材毎の製品搬出までを自動化、高精度・高品質を保ちながら安定した重加工や端材圧縮、低ランニングコスト化の飛躍的向上、工程上の人的危険要因の排除が実現した。
【高精度・高品質】【効率化】【コスト削減】【安全性向上】
 - ③ 契約日：2022 年 2 月 1 日 ④ 物件価額：100 百万円 ⑤ 契約期間：7 年
- (3) 寄付：寄付先 山形県立山形工業高等学校（校長 高橋 良治）
寄付金贈呈式 2022 年 3 月 24 日（木）
寄付金 金 200 千円（山銀リース、ムラヤマの連名）
- (4) 設備投資による SDGs 促進
 - No.7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」
 - No.8「働きがいも経済成長も」
 - No.9「産業と技術革新の基盤をつくろう」
 - No.12「つくる責任つかう責任」
- (5) 寄付による SDGs 促進
 - No.7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」
 - No.9「産業と技術革新の基盤をつくろう」
 - No.11「住み続けられるまちづくりを」
 - No.12「つくる責任つかう責任」
 - No.13「気候変動に具体的な対策を」
 - No.16「平和と公正をすべての人に」
 - No.17「パートナーシップで目標を達成しよう」

3. 当社の SDGs への取組内容

- (1) 当社は 1926 年（大正 15 年）の創業以来一貫して安全・品質・コストの 3 つをモットーに、建設用鉄骨加工組立業として、文字通り建築物の“骨”となる鉄骨をより良い未来に向けた遺産として送り続けている。加えて、昨今は SDGs を意識した様々な取組みにも注力している。
- (2) 本業においては、CAD・CAM の導入をはじめ各分野でのコンピュータ化、溶接ロボット等の稼働により、製品の正確化・自動化による安全性・高効率を追求しながら、生産性・品質の向上に向けた努力を日々継続している。
- (3) また、所定外労働時間の削減に向けたノー残業デー設定・実施などによる社員が安心して仕事と生活ができる雇用環境の整備、高校生・大学生インターンシップの積極的な受け入れや小・中学校の工場見学等受け入れによる地域貢献と次世代育成支援などに取組んでいる。
- (4) 今後も全社の総力を結集して、人間尊重の働きやすい職場づくり、誠実さ・若さをもってお客さまや地域社会の皆様にあいさされ信頼される鋼構造物のパイオニアを目標に郷土のため、社会発展のために寄与する所存。

4. 山形県立山形工業高等学校の SDGs への取組内容

(1) 【めざす学校像】

歴史と文化が薫るものづくりを重視する科学技術系工業高校

・地域や大学等と連携し、ものづくりを通して匠の心技体を体得する教育（技能教育）と最新の科学技術をバランスよく取り入れた工業高校をめざす。

【育てる生徒像】

時代を生き抜くたくましい創造型工業技術者

・豊かな人間性・高い専門性・実践的行動力を兼ね備えた工業技術者

(2) SDGs 取組方針（次の 100 年に向けて）

① 次の 100 年に向けて SDGs 実現に取り組む

② 持続可能な未来に向けて

SDGs（持続可能な開発目標）達成に向けた連携

地元「山形」から地域や社会の課題発見・課題解決

普く知識を世界に求める工業の取組み

・国際交流によるグローバル視点での課題解決力

新竹高級工業職業学校（台湾）との連姉妹校締結および技術交流

「新竹の強み」「山形の強み」を活かしたパートナーシップ

・100 年先の持続可能な未来に向けて、今、私たちにできること

『山工 NEXT Vision 100』

(3) 山工元気プロジェクト（一般社団法人日本SDGs協会 SDGs事業認定）
バイオマスエネルギーシステム開発による「山形産マンゴー」栽培への挑戦

～ ICTを利用した共同研究からSDGsを考える教科横断型の取組み ～

① 労働人口減少問題に対して

（東北の雪国「山形」で南国育ち「マンゴー栽培」の挑戦）

- ・IoTを利用したスマート工場の開発、IoT・AIによる監視の全自動の植物工場、ICT機器による遠隔操作での監視

② 環境問題に対して

（地域循環システムの確立）

- ・バイオマスエネルギーの可能性の探求、鑑賞用ヒマワリ栽培で地域の笑顔の輪を（ヒマワリの種からBDF精製）、家庭からの廃食油を利用しBDFを精製（マンゴー栽培のエネルギーへ転用）

③ 特産品で山形に元気を

（新たな体験や価値を創造、「Made in YAMAGATA」を世界へ）

- ・『山形産マンゴー』による地域活性化、山形の新たな特産品を目指す、マンゴーを活用した商品を開発PRへ公式キャラクターの活用、紙媒体からCG・VR動画へ

⇒ 山形県「エコカップやまがた 2021 特別賞」受賞

⇒ 山形サポート「クラウドファンディング」による資金募集

⇒ 3/1～ マンゴービール「サスティナブル マンゴーエール」販売開始



以 上

1. 寄付金贈呈式

(1) 日時：2022 年 3 月 24 日（木） 13:30～ 30 分程度

(2) 場所：山形県立山形工業高等学校 会議室

(3) 出席者：株式会社ムラヤマ 常務取締役 渡辺 修 様

山形県立山形工業高等学校 校長 高橋 良治 様

同上 事務部長 渡邊 義寿 様

同上 教頭 伊藤 一夫 様

同上 山工元気プロジェクト事務局 櫻井 晋弥 様

同上 山工元気プロジェクト生徒代表 2 名 様

山銀リース株式会社 代表取締役 柿崎 正樹

同上 本社営業部 部長 青木 郁典

(4) 寄付金：金 200 千円

※当日は目録も手交させていただきます。

(5) その他：報道機関各位にはぜひ取材いただけますようお願い申し上げます。

以 上